

切バスが乗客42名を乗せて運行中、乗客から焦げ臭いとの通報が当該バスの運転者にあり、その直後に車内に煙が流入してきたため、当該バスの運転者は、トンネルの出口まで走行し、路肩に停車して乗客を避難させた。避難から約10分後に車体後部のエンジンルーム付近から出火した。

この事故による負傷者はなし。

当該火災は、当該バスの運転者が当該バスに備えられていた消火器で消火活動を行い、また、偶然、当該バスの後方を走行していたNEXCOの職員も消火活動を行ったが当該バスは全焼した。

この事故の影響で、当該高速道路の一部区間が一時通行止めとなった。

(3) タクシーが軽乗用車などに衝突した事故

7月28日午後11時30分頃、千葉県において、個人タクシーが乗客1名を乗せて運行中、信号待ちで停車していた軽乗用車に追突した。その後、当該タクシーは、約1キロメートル走行を続け、信号機に衝突して停車した。

この事故により、当該タクシーの乗客が意識不明の重体、当該タクシーの運転者が軽傷を負った。追突された軽乗用車の乗員に負傷者はなし。

なお、当該タクシーの運転者は、事故後の警察からの事情聴取に対して、「高血圧の薬を飲んでいてボーッとしていた。」と話している模様。

(4) タクシーが道路を横断していた歩行者を撥ねた事故

7月29日午前2時5分頃、鹿児島県において、タクシーが空車で走行中、道路を横断していた歩行者を撥ねた。

この事故により、撥ねられた歩行者が死亡した。

事故現場は、道路中央に路面電車の軌道がある片側三車線の直線道路で、歩行者の横断禁止区域だった。

事故当時、当該タクシーの運転者は、当該道路の第二通行帯を走行していたところ、当該道路を左から右へ横断していた歩行者に気付くのが遅れ撥ねた模様。

なお、事故現場周辺には街灯は設置されていなかった。

(5) トラック運転者が酒気帯び運転で事故

7月26日午後9時10分頃、新潟県において、トラックが走行中、狭い道に迷い込んだため後退したところ、民家のブロック塀に衝突した。

この事故による負傷者はなし。

事故後、駆けつけた警察が当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、呼気中に基準値を超えるアルコールが検出されたが、当該トラックの運転者は、同月28日に帰庫した際、所属する事業者にも物損事故を起こしたことだけを報告し、その日に自主退職した。

当該事業者は、8月3日、外部からの連絡により、当該トラックの運転者の酒気帯び運転の事実を知った模様。

* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

